

都内におけるHIV・性感染症検査に関する研究

研究分担者 貞升 健志 東京都健康安全研究センター 微生物部長

研究要旨

【目的】 Microsoft Forms によるアンケート調査で、東京都新宿東口検査・相談室（新宿東口）における受検者層の実態把握を試みる。また、都内無料匿名検査所の潜在的な検査能力（キャパシティ）の向上を目的に、都内保健所等の検査担当者の意識アンケート調査を実施する。

【方法】 新宿東口における受検者層の把握のために、新宿東口内に A3 大のポスターを掲示し、そこから QR コードを利用した Microsoft Form でのアンケート調査を試みた。A3 ポスター上には、日本語以外に、英語、中国語での Microsoft Form に繋がる QR コードを載せた。また、都内保健所等の検査担当者への意識アンケート調査では、メーリングリストを用い、Microsoft Form にてアンケート調査を実施した。

【結果】 2025 年 1 月 6 日より、新宿東口の壁に A3 版ポスターを設置した。しかしながら、2025 年 2 月 9 日現在、日本語での回答は 8 件、英語での回答は 4 件、中国語での回答は 1 件に過ぎず、回答方式を改良する必要性が示唆された。また、保健所等担当者へのアンケートでは、44 件の回答を得た。回答保健所の多くは来年度も HIV 検査を計画する施設が多くを占めていた。

【考察・結論】

新宿東口のアンケート調査では、回答数を向上させるための働きかけが必要であるが、英語ならびに中国語での回答例もあり、改めて検査受検者の多国籍化が示唆された。保健所等担当者へのアンケート調査では、今後さらなる解析が必要ではあるが、改めて保健所間、担当者間での意見の違いがあり、施策の実現に向けても、様々な検討の必要性が示唆された。

研究協力者

長島 真美	東京都健康安全研究センター ウイルス研究科長
本間 隆之	山梨県立大学看護学部 准教授
岩橋 恒太	特定非営利活動法人 akta 代表
西塚 至	東京都健康安全研究センター／東京都
潟永 博之	国立国際医療研究センター・センター長
四本美保子	東京医科大学臨床検査医学分野・准教授

A. 研究目的

東京都新宿東口検査・相談室（以下、新宿東口）における受検者層の実態把握を目的に、QR コードを経由した Microsoft Forms によるアンケート調査を試みる。また、都内無料匿名検査所の潜在的な検査能力（キャパシティ）の向上を目的に、都内保健所等の検査担当者の意識アンケート調査を実施することを目的とした。

B. 研究方法

1. 新宿東口における受検者層の把握

相談室内に A3 版ポスターを掲示し（図 1）、そこから QR コードを利用して Microsoft Form でのアンケート調査を行った。A3 版ポスターには、日本語以外に、英語、中国語での Microsoft Form に繋がる QR コード載せた。なお、アンケート内容（日本語版のみ）については、別紙 1 の通りである。

（倫理面への配慮）

新宿東口検査・相談室でのアンケート調査については、東京医科大学医学倫理審査委員会承認され（T2024-008）、東京都健康安全研究センター倫理審査委員会においても承認されている（6 健研健第 906 号）。

2. 都内保健所等の検査担当者への意識アンケート調査

東京都の感染症担当者会議で事前にアンケートに

対する説明を行った後、メーリングリストを用いて、Microsoft Form にてアンケート調査を依頼した。アンケート内容については、別紙2に示す通りであり、以下の4段階の回答を選択肢とした。

4. 優先事項であり、早急に実行する必要がある（優先的に取り組むべき）。3. 重要であり、できるだけ早く対応すべき（重要だが、やや優先順位が低い）。2. 必要性は感じるが、現時点では優先順位は高くない（必要だが、優先順位はかなり低い）。1. この取り組みは不要であり、対応する必要はない（必要ない）。

C. 研究結果

1. 新宿東口における受検者層の把握

2024年12月に倫理審査委員会の承認が得られたので、2025年1月6日より、新宿東口にA3版ポスターの設置をお願いした。2025年2月9日現在、日本語での回答は8件、英語での回答は4件、中国語での回答は1件に過ぎず、A3版ポスターを掲示のみで

はアンケート回収率が著しく低いので、回答方式を検討する必要性が示唆された。

2. 都内保健所等の検査担当者への意識アンケート調査

1月27日～2月7日までのアンケート調査の結果、保健所等担当者から44件の回答を得た。回答した保健所は来年度にHIV検査を計画する施設が多くを占めた。

まず、広報・情報提供の強化・増進に関する問いでは、「SNS（インスタグラムやX）による広報の充実・強化」、「個別施策層（MSM、若年者、外国人、性産業従事者等）に特化した広報の充実・強化」、「YouTubeなどの動画プラットフォームを活用した広報の充実・強化」、「多言語対応（外国人住民向けの情報発信）による広報の充実・強化」等の施策の評価が高かった（図2）。

**HIV・性感染症
アンケート調査のお願い**
HIV and Sexually Transmitted Diseases
Questionnaire Survey Request
艾滋病病毒和性传播感染问卷调查申请

今後のHIV・梅毒検査・相談の充実のために、アンケート調査を実施しております。
携帯でQRコードを読み取って頂くと、アンケート専用のWEBサイトにアクセスが可能です。
なお、アンケートの回答は「任意」です。

We appreciate your cooperation in filling out the questionnaire to help us improve our
HIV and syphilis testing and consultation services in the future.
You can access the dedicated survey site by scanning the QR code with your cell phone.
Please note that answering the questionnaire is optional.

请填写调查问卷，以帮助改进今后的艾滋病和梅毒检测与咨询工作。
您可以用手机扫描二维码访问调查专用网站。请注意，对问卷的回答是非强制性的。

日本語 English 中文

アンケート調査実施期間：2025年1月～2026年3月
Questionnaire Survey period: January 2025-March 2026

(本アンケート調査は、厚生労働省「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究班」で実施しています。)
(This survey is conducted by the Ministry of Health, Labour and Welfare's "Study Group on Evaluation and Promotion of Measures Based on AIDS Prevention Guidelines.")
(该调查由厚生劳动省“基于艾滋病预防指南的措施评估和推广研究小组”进行。)

厚生労働省
「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究班」
[研究分担] 東京都健康安全研究センター 微生物部
貞升 龍太
[研究代表] 東京医科大学病院 臨床検査医学科
西本 真保子 (mhk@tokyo-med.ac.jp)

Study Group on Evaluation and Promotion of Measures Based on
AIDS Prevention Guidelines
[Co-researcher] Tokyo Metropolitan Institute of Public Health
Kenji Sadamasu
[Researcher] Tokyo Medical University Hospital Department of Laboratory Medicine
Mihoko Yotsumoto (mhk@tokyo-med.ac.jp)

図1 アンケート調査のお願い (A3版ポスター)

検査アクセスの改善に関する問いでは、「休日検査の導入」、「検査予約システムの簡素化（オンラインでの即時予約対応など）」の評価が高い一方で、「検査イベント等の実施回数の増加」については評価が低く、「女性専用検査日等の専用日の導入」については、意見が割れていた（図3）。

検査の利便性向上に関する問いでは、「検査結果受け取りの簡便化（例えば、メール等での結果の受

け取り）」や「郵送検査（自己検査を含む）」等の新たな手法の導入（活用）」についての評価もある一方で、必要ないという意見も多かった（図4）。

検査と人員体制の強化に関する問いでは、予算や人員増の評価はあまり重要視されていなかった。

検査の多機能化と他機関連携に関する問いでは、「他の性感染症検査との抱き合わせ策」、「地域や学校保健との連携強化」の評価が高い一方で、「厚労

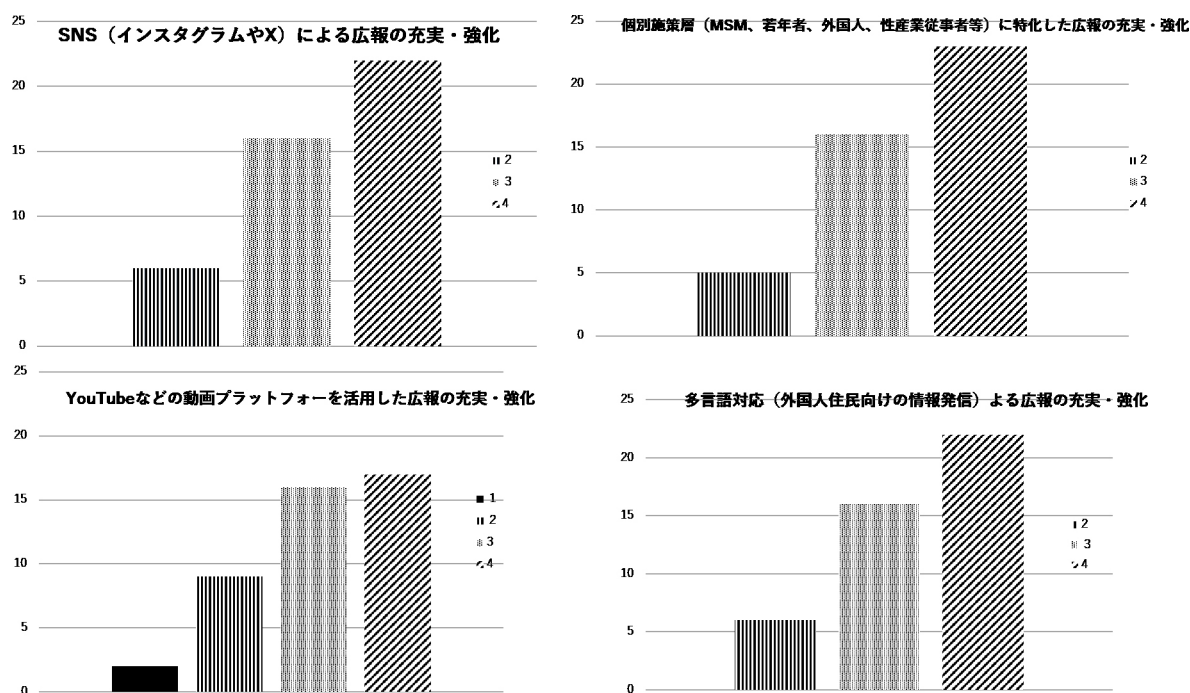


図2 アンケート調査結果①（広報・情報提供の強化・増進）

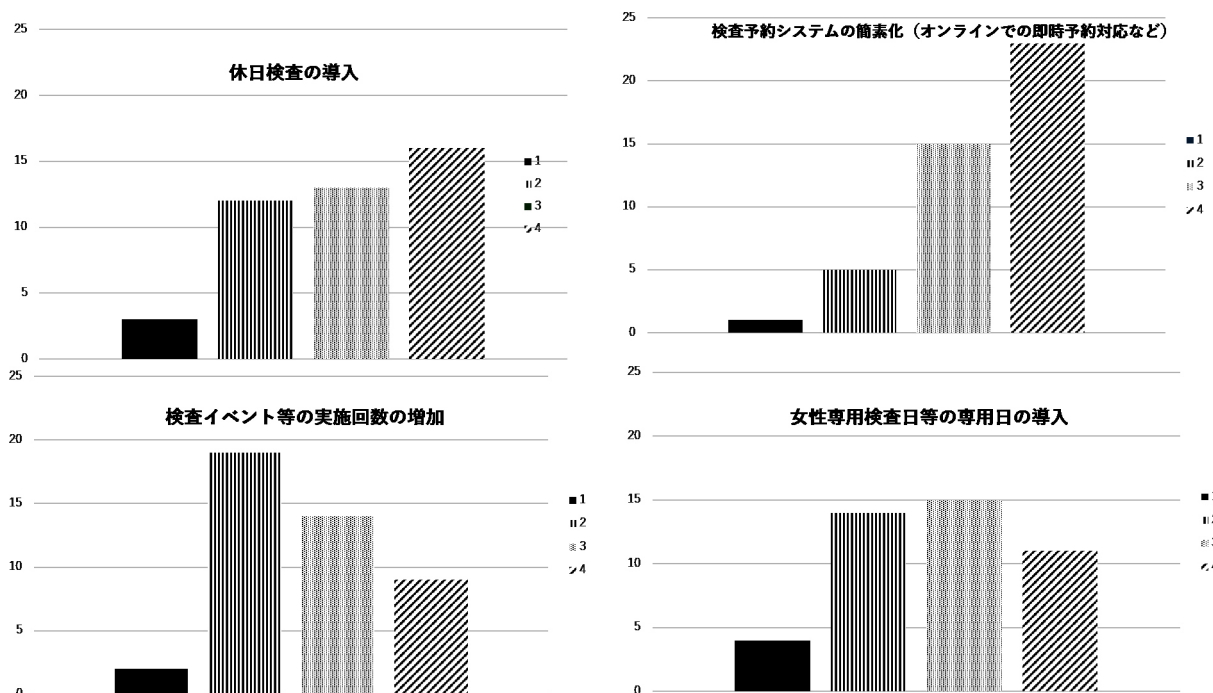


図3 アンケート調査結果②（検査アクセスの改善）

省等の HIV 研究班との連携強化」や「新型コロナウイルス検査薬のような自己検査試薬（個人レベル）の導入（販売化）」については、優先順位はかなり低いとする意見が多かった（図5）。

D. 考 察

今回、新宿東口ならびに保健所等担当者を対象としたアンケート調査を実施した。新宿東口のアンケート調査は、回答数が著しく少なく、今後回答数を向上するための働きかけが必要であるが、英語ならびに中国語での回答例もあることから、改めて検査の多国籍化が示唆された。

また、保健所等担当者へのアンケート調査では、

今後さらなる解析が必要ではあるが、保健所間での意見の相違もあり、施策の実現に向けても、様々な検討の必要性が示唆された。

E. 結 論

新宿東口ならびに保健所等担当者へのアンケート調査を実施した。新宿東口については、データの収集が十分ではなく、実態把握を行うためには、さらなるデータの蓄積の必要がある。また、保健所等担当者のアンケート調査結果では、保健所間での意見の相違があり、施策の実現に向けては、様々な検討の必要性が示唆された。

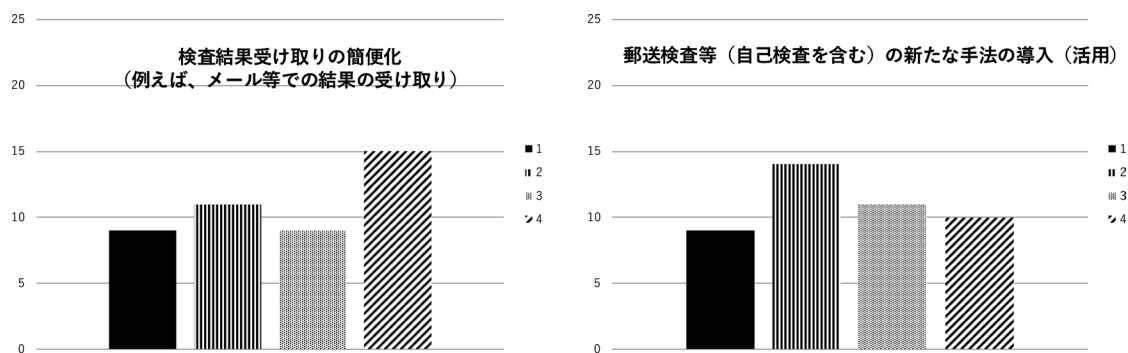


図4 アンケート調査結果④（検査の利便性向上）

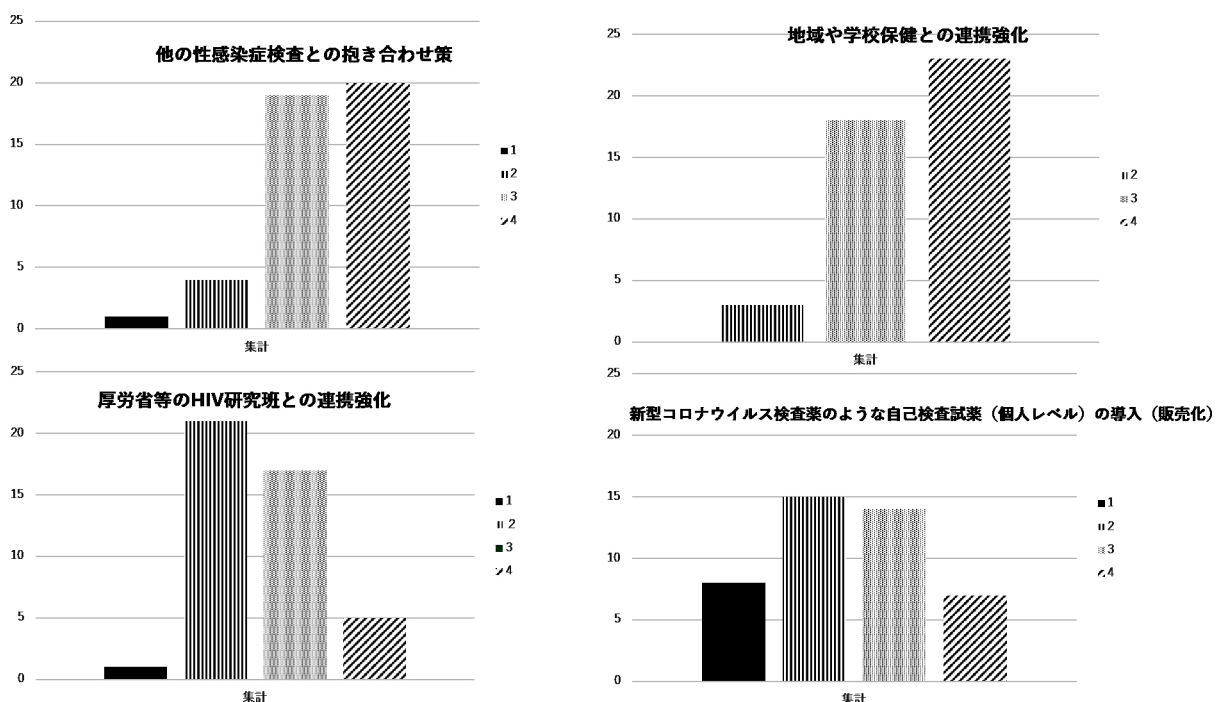


図5 アンケート調査結果⑤（検査の多機能化と他機関連携）

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 椎野禎一郎、湯永博之、今橋真弓、渡邊 大、南留美、蜂谷敦子、西澤雅子、林田庸総、吉田繁、豊嶋崇徳、伊藤俊広、古賀道子、貞升健志、佐野貴子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川 整、中島秀明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂 寛、渡邊珠代、阪野文哉、川畑拓哉、藤井輝久、高田清式、中村麻子、仲村秀太、松下修三、吉村和久、杉浦 互、菊地 正、薬剤耐性 HIV 調査ネットワーク：国内 HIV-1 伝播クラスター動向 (SPHNCS 分析) 年報-2022 年、日本エイズ学会誌、26, 139-150, 2024
2. 河上麻美代、北村有里恵、伊藤 仁、黒木絢士郎、青木 均、中澤柁哉、柴田伸一郎、野本竜平、仁平 稔、柿田徹也、藤原卓士、三宅啓文、長島真美、貞升健志、吉村和久：HIV スクリーニング検査偽陽性および HIV-1 陽性検体を用いた新規 HIV-1/2 抗体確認検査法の有用性の検討、日本エイズ学会誌、26, 158-162, 2024

2. 学会発表

1. 長島真美、岡田若葉、高橋久美子、糟谷 文、熊谷遼太、原田幸子、矢尾板優、貞升健志、吉村和久：東京都におけるエムポックスウイルス検査とゲノム解析、第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会（東京）、2024 年 11 月
2. 川島 亮、土屋亮人、黒木絢士郎、長島真美、中本貴人、小泉吉輝、桑田 亮、阿部静太郎、井上恵理、安藤尚克、上村 悠、青木孝弘、水島大輔、貞升健志、照屋勝治、吉村和久、湯永博之：SARS-CoV-2 長期持続感染 HIV 患者における次世代シーケンシング解析、第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会（東京）、2024 年 11 月
3. 菊地 正、西澤雅子、椎野禎一郎、豊嶋崇徳、伊藤俊広、林田庸総、湯永博之、古賀道子、長島真美、貞升健志、佐野貴子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川 整、中島秀明、吉野友祐、堀場昌英、茂呂 寛、渡邊珠代、今橋真弓、蜂谷敦子、松田昌和、重見 麗、岡崎玲子、岩谷靖雅、横幕能行、渡邊 大、阪野文哉、川畑拓也、藤井輝久、高田清式、中村麻子、南 留美、松下修三、仲村秀太、小島潮子、Lucky Runtuwene、吉村和久、杉浦 互：2023 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向、第 38 回日本エイズ学会学術集会・総会（東京）、2024 年 11 月

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

I. 謝辞

本アンケートにご協力またはご回答してくださいました東京都の保健所関係者の皆様に感謝申し上げます。

別紙 1

HIV・性感染症 アンケート調査(厚生労働省研究班)

このアンケートは HIV および性感染症の検査・相談の充実のために、厚生労働省の「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究班」が作成して実施しております。個人情報収集していませんので、個人が特定されることはありません。回答いただいた内容は統計的なデータとして活用させていただきます。

ご理解の上、回答にご協力をお願いいたします。なお、本アンケート調査への回答は任意です。
(アンケート実施期間:2025 年 1 月～2026 年 3 月)
(日本語バージョン)

1.性別を教えてください。

- ・男性
- ・女性
- ・ノンバイナリー
- ・答えたくない

2.あなたに当てはまる項目がありますか？

- ・ヘテロセクシュアル(異性愛者)
- ・ゲイ(同性愛者)
- ・レズビアン(同性愛者)
- ・バイセクシュアル(両性愛者)
- ・答えたくない

3.年齢を教えてください。

- ・10 代
- ・20 代
- ・30 代
- ・40 代
- ・50 代
- ・60 代
- ・70 代以上
- ・答えたくない

4.居住地はどちらですか？

- ・東京 23 区内
- ・東京 23 区外(市)
- ・埼玉県
- ・千葉県
- ・神奈川県
- ・他県

5.今日の検査の主目的は何ですか？

- ・HIV 感染が心配
- ・梅毒感染が心配
- ・HIV 感染も梅毒感染も心配

6.HIV 検査は何回目ですか？

- ・初めて
- ・2 回目
- ・3 回目
- ・4 回目以上
- ・わからない

7.HIV 検査を定期的に受けていますか？

- ・おおよそ 1 年に 1 回は受ける。
- ・6 ヶ月またはそれより短いペースで受ける。
- ・特にペースは決めていない。
- ・定期的には受けない。

8.これまでに受けたことがある他の HIV 検査機会がありますか？(手術前検査は除く)

- ・保健所での検査
- ・病院,診療所,クリニックでの検査
- ・郵送検査
- ・イベント等での検査
- ・これまでに受けたことはない

9.これまでに次の性感染症にかかったご経験はありますか？(複数選択可)

- ・梅毒
- ・クラミジア感染症
- ・淋菌感染症
- ・罹ったことはない

10.金銭をもらうまたは払って性交渉をしたことがありますか？

- ・ない
- ・ある
- ・答えたくない

11.あなたは性交渉の際、どれくらいコンドームを使いますか？

- ・必ず使う
- ・使うことが多い
- ・半々程度で使用する
- ・使わない方が多い
- ・全く使わない

12.抗 HIV 薬を服用して HIV 感染のリスクを減らす PrEP(プレップ)という方法を使ったことがありますか？

- ・PrEP を知らない。
- ・知っているが使ったことはない。
- ・最近(6 ヶ月以内程度)使った。
- ・最近は使っていないが以前使っていた。

13.治療すれば HIV はうつらない(治療によりウイルス量を一定基準以下に抑え続けている HIV 陽性者は性行為で他者に HIV を感染させない、U=U)ことを知っていますか？

- ・はい
- ・いいえ

14.HIV・梅毒郵送検査(自宅で採血。検体を郵送し、1 週間程度でウェブ上にて検査結果)があれば活用しますか？なお、郵送検査は「プレ検査」の位置づけであり、「確定検査」まで行う保健所等の検査とは異なる位置付けです。

- ・有料でも活用してみたい
- ・有料なら活用しない

15.次のものを知っていますか？(複数回答可)

- ・東京都 HIV 等検査予約サイト
- ・HIV 検査相談マップ
- ・東京都 HIV 検査情報 Web
- ・東京都性感染症ナビ
- ・HIV マップ
- ・コミュニティセンターakta

16.その他、お気づきのことや思うことなどありましたらお願いします(自由記載)

別紙 2

公的検査機関(保健所、特設検査会場)での効果的な HIV 検査を実施する観点からのアンケート調査

エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究(分担研究者:貞升健志、東京都健康安全研究センター)
(本アンケートは東京都内のすべての保健所等に送付させて頂いています)。

HIV 検査関連をご担当されている方にご回答をお願い致します。誠に恐れ入りますが、アンケート調査の〆切日は 2025 年 2 月 7 日)とさせていただきます

(集計結果につきましては、コメンテーター会議等で共有させていただきます)。

公的検査機関(保健所、特設検査会場)での効果的な HIV 検査を実施する観点でのアイデア収集の観点から、アンケート調査を計画しましたので、下記のご質問にお答えください。。各設問に対する答えのポイント(4~1)の意味は以下の通りとします。なお、個々の重要度は貴施設における予算や人員等の制約を考慮に入れずにお答えください。

- ④ 優先事項であり、早急に実行する必要がある(優先的に取り組むべき)。
- ② 重要であり、できるだけ早く対応すべき(重要だが、やや優先順位が低い)。
- ② 必要性は感じるが、現時点では優先順位は高くない(必要だが、優先順位はかなり低い)。
- ① この取り組みは不要であり、対応する必要はない(必要ない)。

【質問事項 1~33】

1. SNS(インスタグラムや X)による広報の充実・強化
2. 個別施策層(MSM、若年者、外国人、性産業従事者等)に特化した広報の充実強化
3. YouTube などの動画プラットフォームを活用した広報の充実・強化
4. 多言語対応(外国人住民向けの情報発信)
5. 検査アクセスの改善
6. 夜間帯での検査の実施
7. 休日検査の導入
8. 保健所以外の場所における出張検査の実施
9. 検査予約システムの簡素化(オンラインでの即時予約対応など)
10. 受検日の増加
11. 検査イベント等の実施回数の増加
12. 女性専用検査日等の専用日の導入

13. 受検者が検査結果を得るまでの期間(時間)の短縮化
14. 検査結果受け取りの簡便化(例えば、メール等での結果の受け取り)
15. 郵送検査等(自己検査を含む)の新たな手法の導入(活用)
16. 検査と人員体制の強化
17. 検査(検査費、人件費、広報等を含む)に関連する予算の増額
18. 医師(雇い上げ医を含む)・検査技師・保健師等の増員
19. 採血やカウンセリング等に係る従事職員の増員
20. カウンセリングの充実
21. セクシュアリティの理解と健康支援のトレーニングを受けたスタッフの育成
22. カウンセリングのオンライン提供
23. 他の性感染症検査との抱き合わせ策
24. 民間や NPO への委託化の促進
25. 衛生研究所(東京都健康安全研究センター)の検査等への効果的な活用
26. 厚労省等の HIV 研究班との連携強化
27. 診療所との連携・活用
28. 新型コロナウイルス検査薬のような自己検査試薬(個人レベル)の導入(販売化)
29. 民間や NPO との情報交換の機会など連携の強化
30. 地域や学校保健との連携強化
31. U=U を周知・啓発するキャンペーンの実施
32. スティグマを低減するキャンペーンの実施
33. PrEP など多様な予防方法を周知・啓発するキャンペーンの実施
34. 貴施設では、令和 7 年度(来年度)に HIV 検査等を計画していますか？
35. 自由意見(自由記載)